



陽気だより

No83

2014.2.15

●ホームページからも「陽気だより」
最新号・バックナンバーをご覧ください

<http://yotokusha.com/>

図書出版 養徳社 〒632-0016 天理市川原城町 388 TEL 0743 (62) 4503 / FAX 0743 (63) 8077

養徳社

検索

昭和33年2月号から

『陽気』は、昭和24年4月の創刊、今年で65年を迎えます。過去の記事から、その歩みの一端を振り返っていきます。



〔どんな学校に入りたいか〕

特色をえらび特色をつくれ

長谷山八郎

〔昭和三十三年当時 天理大学女子短期大学教授〕

どんな人間になるつもり？

学校の選択についての意見を求められました。ここで学校というのは、主として高校、大学をさすものと思えます。子どもの学校を選ぶことが、親にとっても真剣な問題になってきているところにもむずかしさがあるわけで、今の日本の政治や経済などの種々の問題が、子どもの教育の問題にしわ寄せされているとも言えます。

このような社会情勢の中で、一方では社会保障制度の確立を念願しながら子どもの教育の問題、特に学校選択の問題をどう考えたらいいか、二、三の私見を述べてみます。

一、親の問題か子どもの問題か
学校の選択はもちろん子ども

の問題です。子どもの能力に依じて子ども自身が自主的に決めるべきもので、親の希望や期待に子どもが引きずられ、入学させられるというのは困ります。高校を選ぶのに子どもだけの判断でよいというのではありません。親が子どもの能力なりとりえなり子どもの全部をよく見て助言することは結構ですが、親の好みや虚栄の押しつけは避けたらという事です。

二、どんな人間になるつもりか
学校に入学して将来どんな



ることが必要です。人間のねうちは何か、本当の幸福は何か、という問題にまで発展しますが、自分の特色なり、武器なりを持つて、たとえささやかなポストであつても、そこから自分の人生をつくってゆく、社会に貢献してゆく、開拓的、創造的な生き方がのぞまれているです。

人間になるつもりなのか、この点をまず考えていただきたいものです。漠然と良い学校に入って、良い就職口を見つけてようというのは困ります。独自の特色を自分の個性なり才能なりを中心に作り上げる努力を学校生活の中で続けてほしいのです。

自分なりの生活設計を考えて自分を育てる努力をしない人は卒業しても必ず困ります。何らかのとりえを持って、それを手がかりに社会に貢献しうる人間が今の日本では必要です。安定した職場で機械の部分品になっていることだけを願う人間ばかりでは困ります。

有名な大学卒業の肩書きで、一流の職場で、よいポストを見つけるといふ、いわゆる立身出世主義の考え方は捨て去

友人が大学に入るからといって、それほどの能力がないのに自分も無理する必要はありません。高校を出て社会に入り、職場の同僚と励ましあつて、様々な勉強を続け、教養や技術を身につけ、自分を磨いていくことも一つの生き方です。安易な道ではありませんが、現に多くの若者たちがこの方向に生きています。彼らの中から大学卒業生に劣らぬ教養や技術を身につけた新しいインテリが生まれつつあります。

特色をえらび特色をつくれ

三、特色のある学校を選ぶこと

従来は官立の学校が私立の学校よりすぐれているという先入観もあったようですが、もっと実質的に学校を見つめることが必要です。

私立の学校は本来その独自の特色を強く押し出すべきなのに、官立の学校の模倣をしたがる傾向があつて、これははなはだ残念なことです。

近頃の学校はとかく大量生産の人間工場のような傾向があり、それに、いわゆる有名な学校のまねばかりしたり、はつきりした特色をもつ学校の少ないことは困った傾向です。

自分の特色を作り上げようとしないうで、既成の有名なものの模倣ばかり考えるという安易な行き方は、われわれ日本人全体の盲点とでも言えましょう。それが学校にもその

まま反映しているのです。

独自の特色を持った人間になることを学校生活の目的と考えれば、学校を選ぶ場合にも特色のある学校を探すことが必要になります。

高校では大学入学率のよいところが良い学校と考えられているようですが、そういう見方を反省する必要があります。

更に、すぐれた先生がいて学校の中の師弟関係に期待がかけられるところが見つければ、これに越したことはありません。公立か私立かではなく、特色があるかどうか、よい先生がいるかどうか、こういう角度から学校を見てほしいものです。

『陽気』読者のひろば 投稿募集中

内容…父母のこと、私の信仰、子へ伝えた

いこと、心に残る体験、生活の知恵、おやさど紀行、天理教への夢、社会への提言、その他、『陽気』誌についてのご意見、ご感想など。

枚数…四百字詰め原稿用紙三枚まで。
備考…原稿末尾に住所・氏名(匿名可)・

年齢・職業・電話番号を明記。

送り先…〒

632-0016

奈良県天理局私書箱十五号

養徳社「読者のひろば」係

FAX 〇七四三二六三二八〇七七

掲載に際しては、ページの都合上、一部編集させていただきます。掲載に関する問い合わせ、二重投稿はお断りいたします。原稿は返却いたしません。掲載の方には薄謝を進呈。

作家・出久根達郎作
月刊『陽気』
連載小説「まほらま」
特設サイト公開中!!
◎筆者出久根達郎氏のメッセージをはじめ、これまでのあらすじや立ち読みなど、『陽気』本誌と連動したコンテンツを続々配信。
<http://mahorama.yotokusha.com/>
陽気 まほらま 検索



陽気 道柳教室

信仰の歌「道柳」の作り方のポイントを解り易く紹介


養徳社カウンターにて無料配布中

月刊『陽気』定価改定についてのご案内

本誌は平成二十二年以来、出来るだけ安価でご愛読いただきたいと定価を据え置いてまいりましたが、諸原価の高騰により経営努力も限界に達しました。加えて本年四月から消費税率が八%に引き上げられるため、五月号より定価二百二十円(税込)に改定させていただきます。

何卒、事情と賢察の上、ご理解を賜りますよう、つつしんでお願い申し上げます。尚、本年三月三十一日までに五月号以後の代金をお納めいただく場合は、改定前の定価二百円でご購入していただけます。

購読に関する問合せ先
0120-920-398
養徳社 業務部窓口



Facebook で最新情報をチェック! <https://www.facebook.com/yotokusha>

この「陽気だより」を支部例会などの折、広く養徳社からのお知らせとしてご利用くださいますよう、お願い申し上げます。
<書籍・陽気のご購入方法について>前払いでお願いしております。お近くのゆうちょ銀行に備え付けの振込用紙をお使い頂き、[住所、氏名、電話番号、書名(陽気希望月号)、冊数]を明記の上(振替口座番号00990-3-17694番 加入者名 養徳社)へご送金ください。手数料はお客様負担となります。ご入金を確認後、速やかに商品を発送させていただきます。ご不明な点は養徳社までお問い合わせ下さい。フリーダイヤル0120-920-398 養徳社 業務部